

第10回 雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会(令和3年3月16日開催)

「雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会」規約の改定案、および雄物川の減災に係る取組方針の改定案について審議するとともに、流域治水関連法案の閣議決定、災害教訓の伝承に向けた取組について、web会議方式にて情報共有を図った。

- 規約の改定案(協議会委員、幹事会委員の変更)について了承を得た。
- 協議会委員23名の参加のもと、概ね5年で実施する減災に係る取組方針の改定案について、了承を得た。
- 流域治水関連法案の閣議決定、災害教訓の伝承に向けた取組について情報共有を図った。

➤ 開催日 : 令和3年3月16日(火)

➤ 会場 : WEB会議システム

➤ 委員構成 : 秋田市長※
横手市長※
湯沢市長※
大仙市長
仙北市長
美郷町長※
羽後町長
東成瀬村長※

秋田県 総務部 危機管理監※
建設部長※
秋田地域振興局長
仙北地域振興局長
平鹿地域振興局長
雄勝地域振興局長※
農林水産省 西奥羽土地改良調査事務所長
国土交通省 東北運輸局 鉄道部長※

※:代理出席

気象庁 秋田地方气象台長
東日本旅客鉄道株式会社 秋田支社長※
東北電力株式会社 秋田発電センター所長
国土交通省 秋田河川国道事務所長※
成瀬ダム工事事務所長
玉川ダム管理所長
湯沢河川国道事務所長



協議会の開催状況(web会議:湯沢河川国道事務所の様子)



秋田河川国道事務所の様子

主な発言内容

■大仙市長

- ・ 現在、大仙市内では国・県で実施している激特事業や災害復旧事業により、市内各河川の築堤や河川改修工事などが着々と進んでいる。こうした堤防整備などにより、外水氾濫への対策は飛躍的に進むものと考えている。
- ・ 今後は、内水氾濫への対策がより重要になってくるものとする。
- ・ 大仙市では、来年度新たな排水機場の整備、大型排水ポンプ車の配備などのハードの対策、ソフト対策としては地区防災マップやマイタイムラインの作成支援といった、共助による避難体制の強化を図っている。
- ・ さらに県管理河川の浸水想定区域の見直しにともない、ハザードマップの全面的な更新を予定している。
- ・ これからも各関係機関の協力を頂きながら、積極的に治水対策に取り組んでいきたい。

